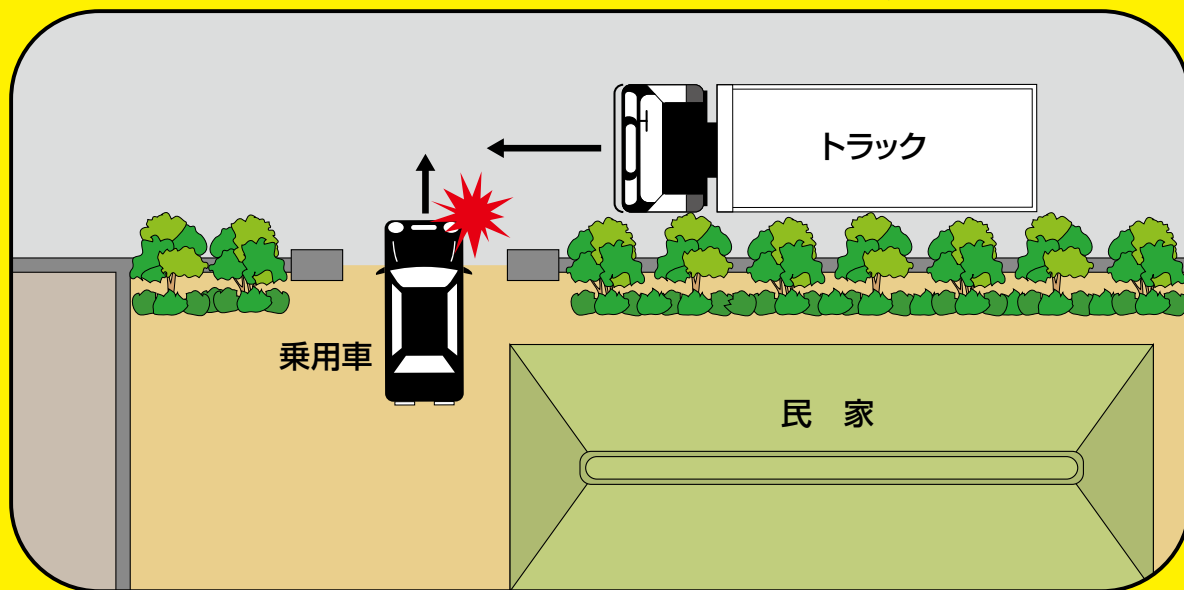


生活道路での出会い頭事故!

～ボンネットが出ていても、相手からトラックは見えていない～



どのような場所か…

住宅街の生活道路。
民家ガレージの出入り口には植木が植えられていて、見通しは悪い。

どのような事故か…

民家ガレージから乗用車が左右確認をしながら徐行で出てきた。トラックは減速しながら直進。乗用車はトラックが直近に迫ってきてもブレーキをかけず、出会い頭衝突した。

原因は……

乗用車：ボンネットは路上に出ていたが、植木が視界を遮り、運転席が路上まで出ないと左右確認ができない。したがって左右確認ができる状態になった時には、路上に自車がかかり出ている状態になる。

トラック：ボンネットが出てくるのを確認したが、すぐ停止すると思いそのまま直進を続けた。

この事故を防ぐためには…

民家のガレージ出入り口付近には、門柱や植木などがあり左右の見通しは悪い。

また、ボンネットがあるタイプの自動車から左右確認をする場合、ドライバーが左右確認できる位置まで出てこないといけません。

よく「徐行しながら左右確認しながら出て行った!」との主張を聞きますが、左右確認ができる状態になった時には、かなり車が出てしまっています。

直進をしている側のトラックは、徐行しながら出てきた車を発見した場合「相手はこちらは見えていないかも知れない」と警戒し、相手が完全停止するのを確認するまで徐行や一時停止を行ってください。

お互いのドライバーの顔が見えた時、初めて双方が安全確認のできる状態となります。

《事故防止上の注意点》

- 民家の出入り口付近や生活道路では徐行してください。荷主の事務所や配送場付近でも同様に注意してください。
- こちらから見えていても相手からは見えていない場合があると言う事を常に認識しておいてください。
- まずプロドライバーから道路を譲る心がけをしてください。



事故事例ニュース

第282号

四国交通共済協同組合
安全対策部
坂出市番の州公園6番6号
(安全対策部直通)
0877-85-7992
電話0877-44-4416代

徐行して出ても相手から見えていない